

平成29年度 食指導研修会

健康教育部



＜日時＞平成29年8月23日（水）10:15～11:45

＜講師＞千木良デンタルクリニック 副院長 千木良あき子先生

＜演題＞「肢体不自由特別支援学校における食事指導～ケース検討をもとに～」

①講演の内容

- ・食べる機能は、環境の影響を受け、経験・学習により発達・獲得される。そのため、食事を通して健全な発達を支援することが第一。
- ・窒息事故防止のために成長に適した食形態を提供すること、摂食嚥下障害においては、感覚運動や体験不足を学校生活の中で補っていきながら摂食嚥下指導を行っていくことが大切。



②実技・体験 「水分を飲もう」

上唇を水面につけなくて、また、ペットボトルの口を唇でくわえて飲んでみると、あちこちから、「飲みにくい」「飲むのが怖い」等の声が……。上唇は水面につけてセンサーの役割を果たすことを実感しました。



③事例

ケース検討では、本校児童の指導から、「おいしく安全な食事の経験を得る」ために、「機能にあった食物を選び、子どもを伸ばす食事介助や支援をする」ことが大切。

摂食機能の向上を目指すために、摂食機能発達段階に合わせて指導・支援し続けていきたいと思いました。